



大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 4 号
令和 4 年 7 月 1 日

校 訓 「歴史を拓く」
学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

メールアドレス：ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ：https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

大切な時間

校長 岡村 洋彦

1学期もまとめの月になりました。保護者、地域の皆様には日頃より本校の教育活動推進のために、ご理解・ご協力いただき、感謝申し上げます。梅雨の只中、まだまだ暑く、不安定な天候が続きます。くれぐれもご自愛くださいますようお願いいたします。

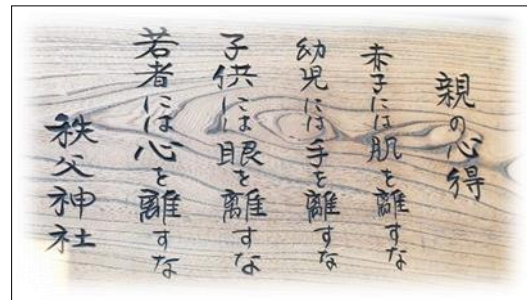
生徒たちは、この3か月で一回り大きくなったように感じます。毎日の授業、部活動、生徒会活動や行事をとおして、心身ともに成長した姿をみることができました。1年生は中学校生活に慣れ、2年生は中堅学年であることを意識し、3年生は最上学年として模範となる行動を意識している様子を様々な場面で感じ取ることができました。

7月は、今学期の振り返りをしっかり行い、来学期につなげてほしいと思います。また、7月21日から夏休みに入ります。長い休みですので、有意義に過ごしてほしいものです。「難しいことに挑戦する」、「易しいことを継続して取り組む」、「家の手伝いをする」、「地域の行事に参加する」、「ボランティア活動を積極的に行う」等、様々なチャレンジや取組の中に、充実した夏休みにできるヒントがあります。感染症や熱中症、天候等による災害など多くの注意すべきことがあります。1、2年前の夏休みと比べるとできることが多くなると思います。チャレンジにより、お子さんに成長が見られたら、褒めて、認め、温かい言葉をかけてください。また、子どもたちはあまり変わりのない表情で、日々過ごしているように見えますが、知らず知らずのうちに見えないストレスを感じている可能性もあります。ご家庭で、お子さんにいろいろな話をしたり、聞いたり、見守ったりすることも大切です。

山口県の方が長い教育経験を踏まえてまとめた「子育て四訓」というのがあります。また、埼玉県秩父神社には、次のようなものがあります。

【子育て四訓】

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな



中学校はとりわけ「目（眼）を離すな」の時期でしょうか。中学生は家族、友人、地域など、他者とのかわりの中で社会性が育つ時期です。しっかり手を離して活動範囲を広げてやる必要があります。一方、成長とともに、子どもが保護者に反抗したり、心が不安定になったりということがあります。このことは保護者や友人に「こちらを向いてほしい」というメッセージを送っているのかもしれませんが。それは成長の過程であり、保護者としてはしっかりと子どもに向き合い、ともに成長することを心がける時期なのでしょう。もちろんこの「子育て四訓」の言葉だけで言い尽くされ、うまくいくものではありません。しかし、1学期の振り返りとこれからのヒントにはなるものだと思います。

この夏休みは一つの節目であり、切り替えの時期でもあり、心を穏やかにする大切な時間でもあると思います。ぜひ、お子さんと一緒に過ごす時間を大切にしてください。

家庭、地域、学校が互いに連携・協力し、「未来の宝」である子どもたちを共に育てていければと思っております。今後とも本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。